

18日

第28回全国救急隊員シンポジウム開催プログラム

※消防団体名及び一部団体名については省略して表記しています。

メインテーマ【救急救命の新たなステージに向かって　～杜の都・仙台から未来へのメッセージ～】 令和2年1月30日(木)・31日(金)　仙台国際センター会議棟・展示棟																											
仙台国際センター会議棟　大ホール　第1会場　大ホール：収容人数 1,000 人																											
【開場・受付】8:30～																											
9:30～10:10						<40分>																					
【開会式】挨拶：仙台市長・一般財団法人救急振興財団会長 紹介：消防庁・厚生労働省・宮城県・仙台市議会・一般社団法人日本救急医学会・一般社団法人日本臨床救急医学会・全国消防長会・一般財団法人全国市町村振興協会 公益社団法人宮城県医師会・一般社団法人仙台市医師会・東北大学災害科学国際研究所 報告：全国救急隊員シンポジウム運営委員長																											
会議棟					展示棟					会議棟		展示															
第1会場 大ホール：収容人数 1,000 人		第2会場 橋：収容人数 562 人		第3会場 萩：収容人数 462 人		第4会場 白樺：収容人数 400 人		第5会場 会議室3：収容人数 182 人		第6会場 会議室4：収容人数 182 人		第7会場 会議室1：収容人数 168 人		第8会場 会議室2：収容人数 168 人		第9会場 小会議室5：収容人数 30 人		第10会場 桜：収容人数 800 人		3階 ホワイト	展示室						
10:20～11:50 【特別講演】 「大震災の教訓の共有と継承」 ～災害対応能力を高める～ 講 師：今村 文彦（東北大学災害科学国際研究所） 司 会：阿部 和彦（仙台市）		10:20～11:50 【シンポジウム 1】 「救急需要対策における取り組みⅠ」 ～救急要請に関わる多機関との連携を考える～ 座 長：河原 利之（堺市） アドバイザー：横田順一郎（堺市立病院機構） 小谷 聡司（総務省消防庁） シボスト：①小林 伸一（北九州市） ②山田 剛美（岐阜市） ③柳井 宏幸（倉敷市） ④小杉 行男（浜松市） ⑤早川 達也（聖隷三方原病院 高度救命救急センター）		10:20～11:50 【シンポジウム 2】 「学校への BLS 教育導入」 ～学校教育カリキュラムへの広がり～ 座 長：名知 祥（岐阜大学医学部附属病院） アドバイザー：稲重丸将人（札幌市） 小松 雅彦（東京消防庁） シボスト：①桐淵 博（日本 AED 財団） ②佐藤 友昭（仙台市） ③高向 誠（福岡市） ④立川 法正（筑波記念病院救急科） ⑤西山 知佳（京都大学大学院 医学研究科人間健康科学系専攻 臨床看護学講座）		10:20～11:50 【一般発表 1】 感染防止症例 座 長：足立 尚之（豊田市） 助言者：川副 友（東北大学病院） 田中 敏彦（横浜市） 発表者：①山口 僚太（飛騨市） ②川勝光太郎（京都市） ③上原 亮（京都市） ④濱田 陽平（横浜市） ⑤半山 武志（羽咋市広域圏） ⑥藤ノ木雅也（十日町地域） ⑦石田 和正（白山野々市広域）		10:20～11:50 【一般発表 2】 高齢社会 座 長：飯塚 一弘（郡山地方広域） 助言者：安藤健二郎（仙台市医師会理事） 菊池 勝大（由利本荘市） 発表者：①江幡 直人（ひたちなか・東海広域） ②加藤 昇（堺市） ③佐藤 秀信（高崎市等広域） ④大熊 重夫（岡山市） ⑤宇野 翔太（筑紫野大幸府） ⑥中村 雄太（白山野々市広域） ⑦佐々木寛文（総社市）		10:20～11:50 【一般発表 3】 労務管理・安全管理 座 長：山口 将史（三観広域） 助言者：横山 徹（救急救命東京研究所） 佐々木光晴（大曲仙北広域） 発表者：①永瀬 豊（相模原市） ②窪田 正博（佐倉市八街市 酒々井町） ③岩田 仁志（岐阜県危機管理 理部消防課） ④小糸 将史（岡山市） ⑤追川 知巳（高崎市等広域） ⑥金澤 知子（川口市） ⑦満田 一樹（松江市）		10:20～11:50 【一般発表 4】 関係機関との連携1 （MC協議会・医療等） 座 長：尾形 秀一（塩釜地区） 助言者：郷古 親夫（坂総合病院） 河合 享（山形市） 高橋 広美（北上地区） 発表者：①美濃輪伯一（岐阜県 MC 救命士（可成）） ②樋本 克徳（堺市） ③菅野 剛（さいたま市） ④上甲 誠（堺市） ⑤庄田 寛司（小松市） ⑥田中 仁（ひたちなか・東海広域） ⑦宮本 守（高崎市等広域）		10:20～11:50 【一般発表 5】 救急活動1（内因性1） 座 長：大友 健二（あぶくま） 助言者：伊関 憲（福島県立医科大学） 河合 享（山形市） 渡邊 悠可（駿東伊豆） ①山崎 真悟（横須賀市） ②片岡 竜彦（堺市） ③北村 智弥（彦根市） ④駒井 幸人（東京消防庁） ⑤天木 毅義（新発田地域広域） ⑦須藤 達也（戸田市）		10:20～11:50 【一般発表 6】 「活動記録システムを用いた シミュレーショントレーニング」 ～活動時間の短縮を目指して～ 講 師：小林 正和（東北大学病院高度救命救急センター） 佐藤 哲哉（みやぎ県南中核病院） 横川 裕大（石巻赤十字病院 救急科） 司 会：荒田悠太郎（東北大学） 指導者：①今井 浩之（東北大学） ②須藤 剛志（東北大学病院）		10:20～11:50 【スキルトレーニング 1】 「活動記録システムを用いた シミュレーショントレーニング」 ～活動時間の短縮を目指して～ 講 師：齋藤 昌利（東北大学病院産科） 星合 哲郎（東北大学病院産科） 田田 英弥（東北大学病院産科） 司 会：石川 久志（黒川地域） 指導者：①後村 花乃（東北大学病院） ②浦波 友紀（宮城県立こども病院） ③小野寺 恵（東北大学病院） ④菊地佳久子（東北大学病院） ⑤佐藤 聡美（東北大学病院） ⑥齋藤風悠子（東北大学病院） ⑦枝村 浩江（東北大学病院） ⑧齋藤空美子（東北大学病院） ⑨土田布美子（宮城県立こども病院） ⑩千葉 綾（宮城県立こども病院） ⑪三浦香奈子（仙台市立病院）									
休憩（50 分）		12:00～12:30 【ランチタイムセミナー】 「アメリカにおける EMT の継続教育の現状と課題」 講 師：藤原ウエイ 晃（McCormick Ambulance） 司 会：村田 祐二（仙台市立病院）																									
12:40～14:10 【教育講演 1】 「国際化時代の救急業務」 ～外国人傷病者への対応について～ 講 師：坂本 哲也（帝京大学医学部救急医学講座） 司 会：武田 聡（山形市）		12:40～14:10 【シンポジウム 3】 「救急需要対策における取り組みⅡ」 ～救急安心センター事業（＃7119）の充実に向けて～ 座 長：久保田健史（横浜市） アドバイザー：横田順一郎（堺市立病院機構） 小谷 聡司（総務省消防庁） シボスト：①山崎 雅幸（新潟県福祉保健 部医務事業課） ②藤本 隆志（大阪市） ③中群 英智（神戸市保健福祉局） ④守谷 俊（自治医科大学附属さいたま医療センター） ⑤横矢 悟（田辺市）		12:40～14:10 【パネルディスカッション 1】 「各地域における救急隊員教育」 ～効果的な教育体制を目指して～ 座 長：東 昇生（名古屋市） アドバイザー：松田 直之（名古屋大学） 田村 公宏（神戸市） ディスカサト：①小林 道生（石巻赤十字病院 救命救急センター） ②田中 将士（甲府地区広域） ③泉山 拓二（北九州市） ④林田 純人（大阪市） ⑤長嶋 弘明（千葉市）		12:40～14:10 【一般発表 6】 通信指令・緊急度判定 座 長：本間 章彦（酒田地区広域） 助言者：奥山 学（秋田大学大学院） 新田 幸司（神戸市） 発表者：①枋原 佳史（秩父） ②榎本 郷史（川越地区） ③三原 泰裕（大津市） ④有馬 隼人（鳥格・三義基地区） ⑤片山 直広（湖南広域） ⑥高柳 和之（川越地区） ⑦酒井 大輔（秋田市）		12:40～14:10 【一般発表 7】 テロ災害・大規模災害・多数傷病者1 座 長：鈴木 幸広（津市） 助言者：清田 和也（さいたま赤十字病院） 笹森 昭仁（さいたま市） 発表者：①小島 真文（東京消防庁） ②佐藤 洋克（富里市） ③石田 健（飯塚地区） ④太田 真司（大阪市） ⑤中川 陽介（守口市門真市） ⑥庄司 海（立浦市） ⑦佐々木慎司（石巻地区広域）		12:40～14:10 【一般発表 8】 ドクターカー・ドクターヘリ 座 長：結城 修悦（最上広域） 助言者：瀨尾 伸夫（山形県立中央病院） 沼山 章（青森地域広域） 発表者：①吉井 克昌（奈良県広域） ②窪田 諒（諏訪広域） ③加茂 仁（姫路市） ④内田 聖人（羽咋市広域圏） ⑤田子 直人（久慈広域連合） ⑥山本 豊（立山町） ⑦宮木 豊（下北地域広域）		12:40～14:10 【一般発表 9】 教育1 座 長：堤 裕之（大分市） 助言者：安田 康晴（広島国際大学） 堀 英治（堺市） 発表者：①坂本 勝利（知多市） ②岸田 正臣（広島市） ③小井川裕史（水戸市） ④岡本 元紀（名古屋市） ⑤小川 浩志（加古川市） ⑥光岡 友美（豊橋市） ⑦栗山 雄典（大阪市）		12:40～14:10 【一般発表 10】 調査・研究1 座 長：佐藤 克則（湯沢雄勝広域） 助言者：須田 志保（若手県立磐井病院） 松田 繁勝（二戸地区広域） 発表者：①伊藤 大輔（雲南） ②大津 昇悟（枚方東屋川） ③万行 政仁（石川県 MC 協議会） ④水井 一輝（奈良県広域） ⑤中田 優希（八代広域） ⑥内田 貴博（八代広域） ⑦栗林 恭司（久留米広域）		12:40～14:10 【スキルトレーニング 3】 「活動記録システムを用いた シミュレーショントレーニング」 ～活動時間の短縮を目指して～ 講 師：小林 正和（東北大学病院高度救命救急センター） 佐藤 哲哉（みやぎ県南中核病院） 横川 裕大（石巻赤十字病院 救急科） 司 会：荒田悠太郎（東北大学） 指導者：①今井 浩之（東北大学） ②須藤 剛志（東北大学病院）		12:40～14:10 【スキルレクチャー】 「訓練を救急現場にするための挑戦」 ～経験と教育の差を埋める訓練の実現に向けて～ 講 師：田邊 晴山（救急救命東京研究所） 宮内 洋（救急救命東京研究所） 司 会：関 亜紀子（救急救命東京研究所） 指導者：①児島 政俊（救急救命東京研究所） ②高橋 紀一（救急救命東京研究所） ③福田 拓司（救急救命東京研究所） ④齋藤 広樹（救急救命東京研究所）									
休憩（10 分）																											
14:20～15:50 【シンポジウム 4】 「災害における対応Ⅰ」 ～災害時における情報収集について考察する～ 座 長：山口 典行（盛岡地区広域） アドバイザー：森野 一真（山形県立中央病院） 西田 翼（厚生労働省） シボスト：①畠山 光（気仙沼・本吉地域広域） ②曾根 敏夫（札幌市） ③久保 達彦（広島大学大学院 医系科学研究科） ④山田 康雄（国立病院機構仙台医療センター） ⑤田中 敬士（熊本市）		14:20～15:50 【パネルディスカッション 2】 「救急需要対策における取り組みⅢ」 ～ICTの更なる活用を目指して～ 座 長：清宮 崇文（さいたま市） アドバイザー：横田 裕行（日本医科大学） 久保田勝明（総務省消防庁） ディスカサト：①大井 良介（名古屋市） ②喜熨斗智也（国士館大学） ③甘田 明広（高崎市等広域） ④十河 貴博（高松市） ⑤遠藤 正一（長岡市）		14:20～15:50 【パネルディスカッション 3】 「ドクターヘリ・ドクターカーとの効果的連携」 ～効果的な連携により救命率の向上につなげる～ 座 長：森田 俊彦（静岡市） アドバイザー：今 明秀（八戸市立市民病院） 新井 悠介（厚生労働省） ディスカサト：①小林 誠人（公立豊岡病院但馬救命救急センター） ②上長 禎（熊本市） ③辻井 信二（八戸地域広域） ④近藤 英史（八戸市立市民病院 救命救急センター） ⑤本村 友一（日本医科大学千葉北総病院救命救急センター）		14:20～15:50 【シンポジウム 5】 「救命率向上へ向けた取り組み」 ～心停止からの救命率を高めるための戦略的フィードバック～ 座 長：石見 拓（京都大学健康科学センター） アドバイザー：石見 拓（京都大学健康科学センター） シボスト：①石尾 伸平（大阪市） ②山尾 伸平（大阪市） ③原 貴大（国士館大学大学院救急システム研究科） ④遠藤 智之（東北医科薬科大学病院救急科）		14:20～15:50 【一般発表 11】 教育2 座 長：佐藤 博之（長岡市） 助言者：南 浩一郎（救急救命東京研究所） 大竹 聡（川崎市） 発表者：①田中 勝也（豊中市） ②廣瀬 暢俊（大分市） ③佐藤玲緒奈（大曲仙北広域） ④奥村雄一郎（豊橋市） ⑤堺 大輔（西宮市） ⑥土屋 健一（印西地区） ⑦松本 亮介（松江市）		14:20～15:50 【一般発表 12】 指導救命士・教育 座 長：佐々木大輔（登米市） 助言者：竹中ゆかり（救急救命九州研究所） 石原 行延（高松市） 発表者：①大神 信洋（福岡市） ②西 大樹（石川県 MC 協議会） ③村松 良孝（稲敷広域） ④一ノ瀬佳彦（岸和田市） ⑤藤澤 浩輝（北九州市） ⑥河野 豊（さいたま市） ⑦小林 靖史（山口市）		14:20～15:50 【一般発表 13】 調査・研究2 座 長：藤本 賢司（横浜市） 助言者：小川 理郎（日本体育大学） 松田 惺二（湯沢雄勝広域） 発表者：①浮田 幹雄（東京消防庁） ②清水 光治（白山野々市広域） ③馬場 崇（豊橋市） ④牛田 雅三（豊橋市） ⑤高瀬 大輔（笠間市） ⑥川崎 光正（稲敷広域） ⑦岸 崇正（七尾鹿島）		14:20～15:50 【一般発表 14】 救急活動2（内因性2） 座 長：今野 智（名古屋市） 助言者：平賀 雅樹（仙台オープン病院） 岡部 和法（いわき市） 発表者：①佐藤 雅也（秋田市） ②藤川真之介（大島地区） ③後藤 尚貴（京田辺市） ④成瀬 高哉（彦根市） ⑤沼沢 光夫（東京消防庁） ⑥上田 聡（堺市） ⑦赤羽根 一（栃木市）		14:20～15:50 【スキルトレーニング 4】 「活動記録システムを用いた シミュレーショントレーニング」 ～活動時間の短縮を目指して～ 講 師：小林 正和（東北大学病院高度救命救急センター） 佐藤 哲哉（みやぎ県南中核病院） 横川 裕大（石巻赤十字病院 救急科） 司 会：荒田悠太郎（東北大学） 指導者：①今井 浩之（東北大学） ②須藤 剛志（東北大学病院）		【会場設営】 意見交換会会場準備									
16:00～17:30 【シンポジウム 6】 「災害における対応Ⅱ」 ～災害時における救急隊の効果的な活用について考察する～ 座 長：長谷井 浩（岡山市） アドバイザー：中尾 篤典（岡山大学） 澤口 義晃（新潟市） シボスト：①鈴木 健治（石巻地区広域） ②相澤 勉（仙台市） ③中村 興（広島市） ④中江 康治（大阪市） ⑤玉木 雅之（福岡市）												16:00～17:30 【教育講演 2】 「地域医療を考える」 ～新時代の地域医療へ向けて～ 講 師：田勢長一郎（福島県立医科大学 附属病院高度救命救急センター） 司 会：三浦 将信（福島市）		16:00～17:30 【シンポジウム 7】 「指導救命士シンポジウム」 ショックの代償期 ～悪化の過程を可視化する～ 座 長：郡山 一明（救急救命九州研修所） アドバイザー：葛城 歳男（総務省消防庁） 脇 文子（陸上自衛隊衛生学校） 田 文子（総務省消防庁） シボスト：①保坂 寛（秋田市） ②三嶋 秀一（大崎地域広域） ③深田 隆志（奈良県広域） ④石井 隆光（相模原市）		16:00～17:30 【パネルディスカッション 4】 「女性救急隊員の未来を考える」 ～生涯活躍社会へ向けた取り組み～ 座 長：春山 敬（高崎市等広域） アドバイザー：葛城 歳男（総務省消防庁） 脇 文子（陸上自衛隊衛生学校） 田 文子（総務省消防庁） シボスト：①田村 俊雅（総務省消防庁） ②須藤 友彦（新潟市） ③喜熨斗千織（川崎市） ④松岡 秀俊（岡山市） ⑤松山千恵美（草加八潮） ⑥荒川記和寿（東京消防庁） ⑦木村 正樹（横浜市） ⑧小野田啓介（岡山市）		16:00～17:30 【一般発表 15】 取組・研究 座 長：石井 光輝（松戸市） 助言者：中田 康城（堺市立総合医療センター） 小池 正之（高崎市等広域） 発表者：①越智 雅人（千歳市） ②三木 大輔（大阪府） ③加藤 嘉之（衣浦東部広域連合） ④松岡 幸治（大館市） ⑤山本 康史（湖南広域） ⑥渡邊 毅史（今治市） ⑦畑野 佳史（湖北地域）		16:00～17:30 【一般発表 16】 通信指令 座 長：工藤 克則（湘東地区） 助言者：井ノ上幸典（新潟市民病院） 平間 徹（仙南地域広域） 発表者：①山本 貴之（飯塚地区） ②前田 翼（神戸市） ③伊藤 康太（船橋市） ④山本 幸治（大館市） ⑤山本 康史（湖南広域） ⑥渡邊 康之（今治市） ⑦畑野 佳史（湖北地域）		16:00～17:30 【一般発表 17】 調査・研究3 座 長：伊藤 法城（宮古地区広域） 助言者：古川 宗（みやぎ県南中核病院） 石田 俊明（上越地域） 発表者：①牛田 雅三（豊橋市） ②河野 弘和（船橋市） ③山崎 光（東京消防庁） ④小谷 陽一（東京消防庁） ⑤秋元 義経（横浜市） ⑥坂本 政法（北はりま） ⑦野水 一良（新潟市）		16:00～17:30 【一般発表 18】 救急活動3（外因性1） 座 長：布施 秀明（下北地域広域） 助言者：安部 隆三（千葉大学医学部 附属病院） 新清 秀樹（千葉市） 発表者：①坂本 拓也（熊本市） ②河野 弘和（船橋市） ③山崎 光（東京消防庁） ④山本 康史（湖南広域） ⑤山田 宏樹（金沢市） ⑥福岡 義治（奈良県広域） ⑦細谷 健太（日立市）		16:00～17:30 【スキルトレーニング 5】 「活動記録システムを用いた シミュレーショントレーニング」 ～活動時間の短縮を目指して～ 講 師：小林 正和（東北大学病院高度救命救急センター） 佐藤 哲哉（みやぎ県南中核病院） 横川 裕大（石巻赤十字病院 救急科） 司 会：荒田悠太郎（東北大学） 指導者：①今井 浩之（東北大学） ②須藤 剛志（東北大学病院）	

資料展示及び東日本大震災復興
※一般発表ポスター展示はデジタル化し、会場内設置のパソコンから終日閲覧可能（PC閲覧）